



# 2015年3月期 決算補足資料

## トピー工業株式会社

A large, vibrant red circular graphic with a glossy, 3D effect, resembling a thick brushstroke or a ring. It is centered on the page and frames the main title text.

# 2014年度(2015年3月期) 決算について

# 決算概要



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

売上高は前期比1.3%の増収。  
営業利益は前期比21.0%の増益、営業利益率は0.4ポイント増の2.7%。  
アルミホイール事業の減損による特別損失13億円を計上。

(単位 億円)

	2013年度 (A)	2014年度 予想(B) <small>※2014年5月9日公表値</small>	2014年度 (C)	前期比 (C-A)	予想対比 (C-B)
売上高	2,347	2,440	2,377	+30	△63
営業利益 <営業利益率>	53 <2.3%>	66 <2.7%>	64 <2.7%>	+11 <+0.4P>	△2 <±0.0P>
経常利益	45	57	60	+15	+3
当期純利益	19	36	24	+5	△12
配当(円)	2.0	4.0	4.0	+2.0	±0.0

# 2014年度の経営環境



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

## 2013年度との比較

### ◆外部環境

○－×：環境・影響の評価

海外経済	○	米国：回復が継続
	×	中国及び東南アジア：経済の不透明感や政情不安
日本経済	○	政府の経済対策による緩やかな回復
	×	消費税増税前の駆け込み需要の反動

### ◆当社グループ

鉄鋼事業	○	メタルスプレッドの改善
	×	電力料金の高騰
自動車・産業機械部品事業	○	ホイール：軽自動車用および北米のスチールホイールが堅調
	－	SGOR：鉦山機械向け需要は依然低迷
	×	履板・履帯：中国・東南アジアの需要減少、競争激化

# 2014年度の取り組み



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

**外部環境が厳しい中、収益改善諸施策とコスト削減を徹底して推進し、前年度を上回る業績を達成できた。  
大規模投資の立ち上げ時期にあたり、着実に計画を推進した。  
また、事業の点検・見直しについても実施し、完了したの  
から実行に移した。**

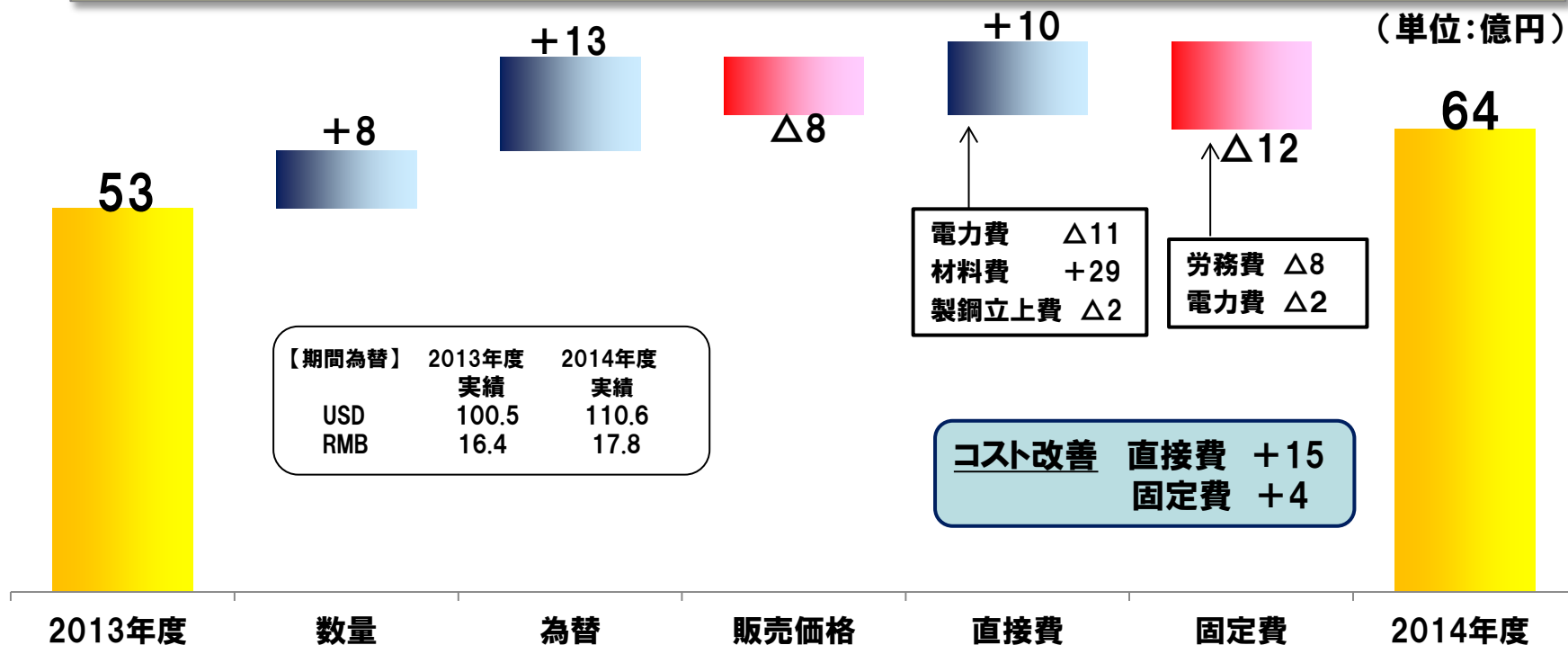
- ・グループ全体で省エネキャンペーン「エネ活2020」を推進
- ・スチール収益改善委員会でグループを挙げて収益力の改善を検討、推進
- ・中国建機部品子会社2社の一体運営による業務の効率化と組織のスリム化
- ・豊橋製造所新製鋼工場：2014年10月試運転開始
- ・トピー パリンダ マニファクチャリング インドネシア：2014年4月稼働開始
- ・トピー エムダブリュ メキシコ：2015年3月試運転開始
- ・発電事業の見直しにより、IPP契約を終了（2015年度より新電力へ電力供給）
- ・ゴルフ場運営会社の全株式譲渡
- ・事業環境の変化に伴い、アルミホイール事業の減損処理を実施

# 営業利益増減要因



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

鉄鋼事業のメタルスプレッドの改善、円安効果、スチールホイールの堅調な販売に加えて、電力をはじめとするコストアップに対して改善努力を積み上げた結果、11億円の増益。



# セグメント別業績



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

鉄鋼事業は18億円の大増益となるものの、自動車・産業機械部品事業は5億円の減益。

(単位 億円)

	2013年度(A)		2014年度(B)		前期比(B)-(A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鉄鋼事業	730	16	722	34	△8	+18
自動車・産業 機械部品事業	1,474	74	1,510	69	+36	△5
その他	143	6	144	4	+1	△2
消 去	—	△43	—	△43	—	±0
連結計	2,347	53	2,377	64	+30	+11

# 鉄鋼事業 営業利益増減要因

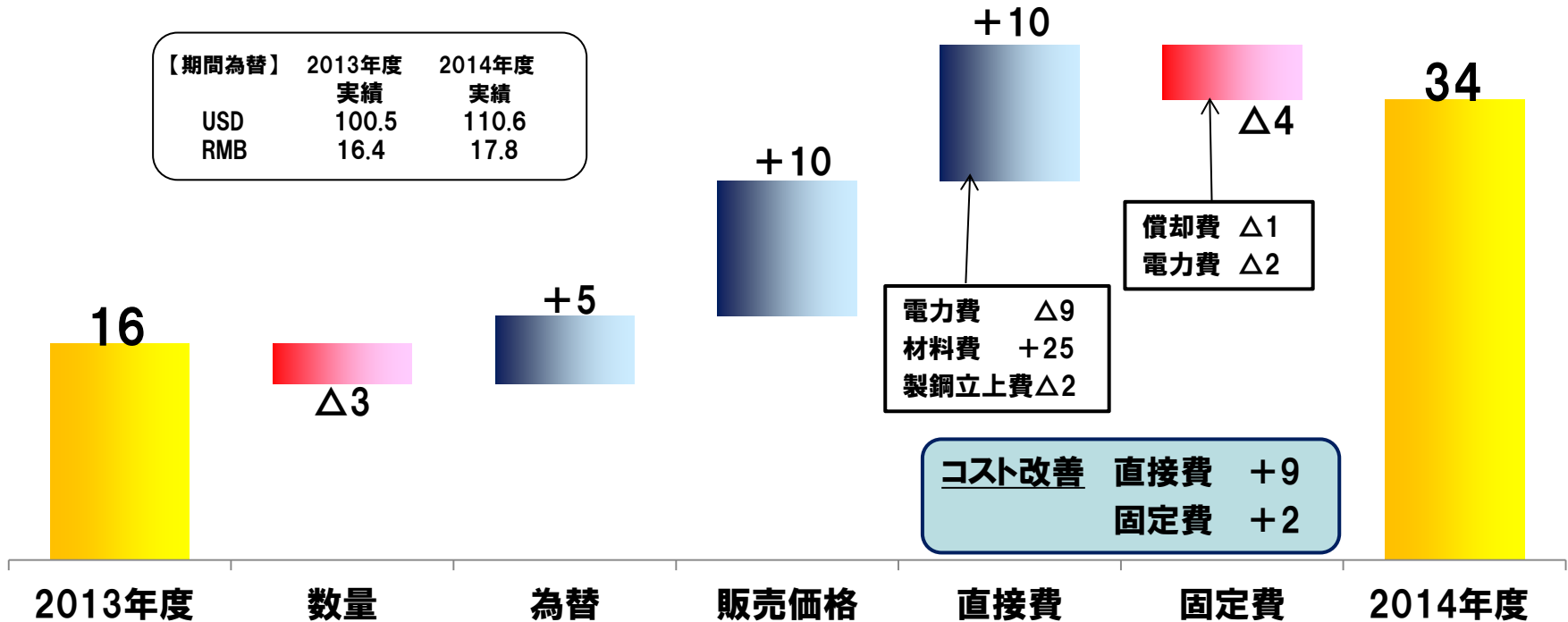


流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

電力費、燃料費等のコストアップがあったものの、徹底的なコスト削減や適正な販売価格の形成により18億円の増益。

(単位:億円)





# 自動車・産業機械部品事業 営業利益増減要因

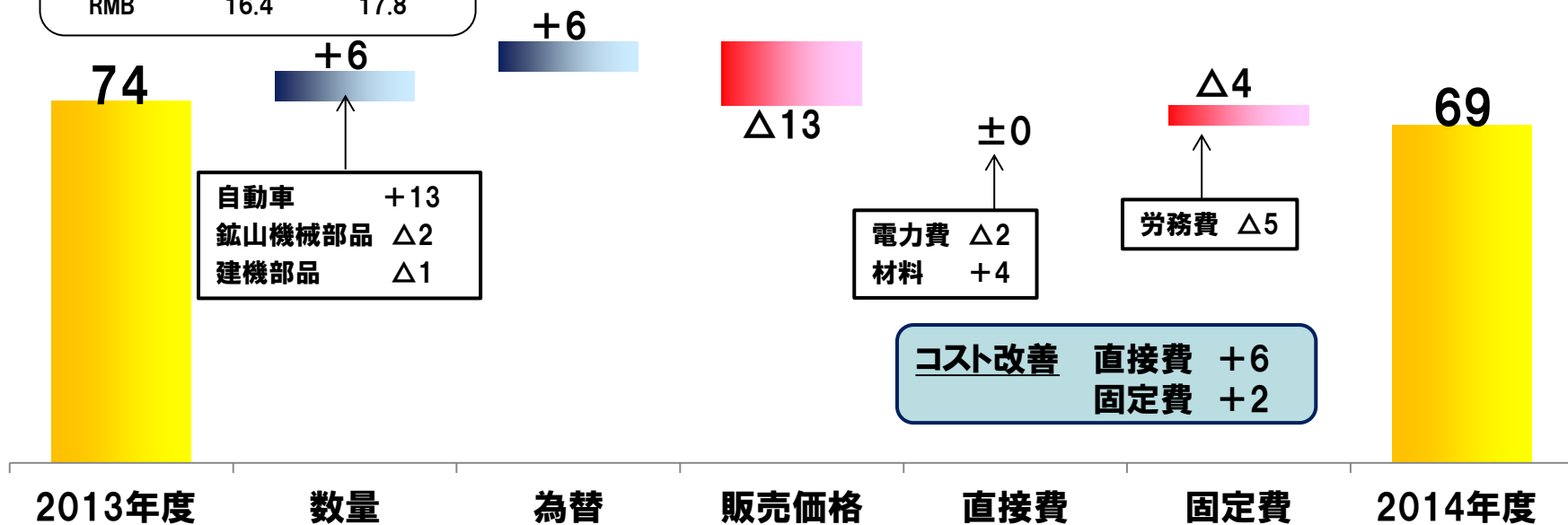


流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

ホイールの数量増加はあったものの、建設機械足回り部品の価格競争により5億円の減益。

【期間為替】	2013年度 実績	2014年度 実績
USD	100.5	110.6
RMB	16.4	17.8

(単位:億円)



# 地域別売上高比率



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

米国の好調な自動車需要とインドネシア新社の稼働開始により、  
海外売上高比率は前期に比べ、1.8ポイント上昇。

上段:実績値 下段:合計売上高に対する比率 (単位:億円)

	日 本	米 国	中 国	そ の 他	合 計
鉄 鋼 事 業	660 27.7%	11 0.5%	0 0.0%	51 2.2%	722 30.4%
自 動 車 ・ 産 業 機 械 部 品 事 業	1,002 42.2%	260 10.9%	131 5.5%	117 4.9%	1,510 63.5%
そ の 他	142 6.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.1%	144 6.1%
合 計	1,805 75.9%	271 11.4%	131 5.5%	170 7.2%	2,377 100.0%

海外比率計:24.1%

## <参考>2013年度

合 計	1,824 77.7%	245 10.4%	149 6.4%	129 5.5%	2,347 100.0%
-----	----------------	--------------	-------------	-------------	-----------------

海外比率計:22.3%



# 2015年度(2016年3月期) 通期業績予想について

# 通期業績予想



流れるように美しい、技術と品質。

*One-piece Cycle*

売上高は前期比3.5%の増収。  
営業利益は前期比51.0%の増益、営業利益率は1.2ポイント増の3.9%。

(単位:億円)

	2013年度	2014年度 (A)	2015年度予想 (B)	前期比 (B-A)
売上高	2,347	2,377	2,460	+83
営業利益 <営業利益率>	53 <2.3%>	64 <2.7%>	97 <3.9%>	+33 <+1.2P>
経常利益	45	60	88	+28
当期純利益※	19	24	54	+30
配当(円)	2.0	4.0	6.0	+2.0

※2015年度より「親会社株主に帰属する当期純利益」の名称に変更

# 2015年度の経営環境想定



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

## 2014年度との比較

### ◆外部環境

○－×：環境・影響の評価

海外経済	－	米国：回復が継続
	－	中国及び東南アジア：経済の不透明感や政情不安
日本経済	－	個人消費、設備投資の緩やかな回復
	－	公共投資の緩やかな減少

### ◆当社グループ

鉄鋼事業	×	販売：国内建設向け需要の減少、社内材の減少
	○	電力コスト：原油価格下落による電力料金の調整
自動車・産業機械部品事業	×	ホイール：軽自動車税引き上げに伴う軽自動車の販売数量減少
	×	SGOR：鉱山機械向け需要がさらに減少
	×	国内建機：排ガス規制前の駆け込み需要の反動減
	×	中国建機：不動産市況の冷え込み等による、さらなる需要の減少

**厳しい経営環境が続く中、引き続き収益改善とコスト削減対策を推進する。海外、国内とも大規模投資立ち上げ時期にあたり、着実に計画を進める。また、再建が必要な事業の再構築に取り組む。**

## ■大規模投資立ち上げ

- ・トピー エムダブリュ メキシコ(乗用車用スチールホイール):2015年4月稼働開始
- ・豊橋製造所新製鋼工場:2015年度中に100%効果発現

## ■事業の再建・再構築

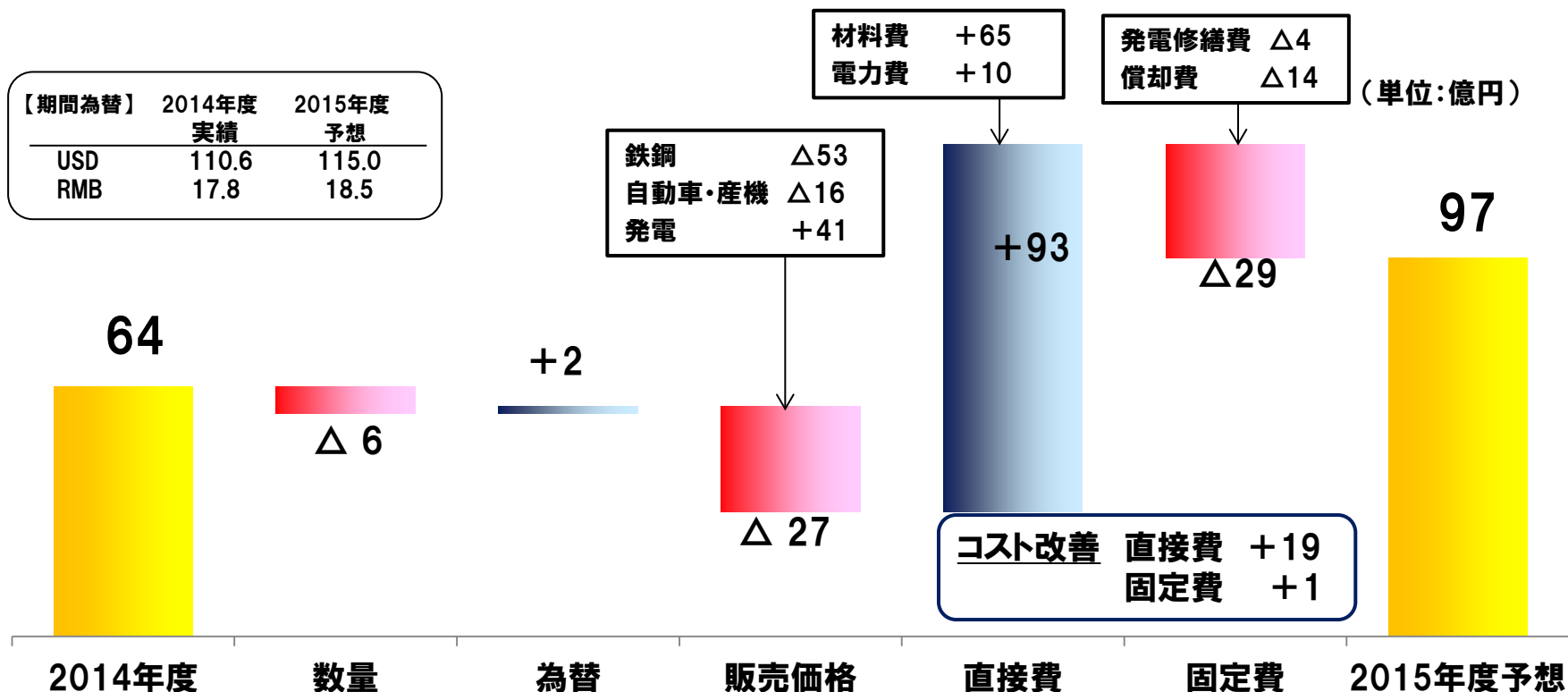
- ・アルミホイール事業
- ・中国建機部品事業
- ・鉾山機械用ホイール事業

# 営業利益増減要因予想



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

適正な販売価格の維持、着実なコスト改善の継続に加えて、発電事業の見直し、新製鋼工場の効果発現により、33億円の増益。



# セグメント別業績予想



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

鉄鋼事業は13億円の増益、また発電事業も29億円の増益となるが、自動車・産業機械部品事業は15億円の減益。

(単位 億円)

	2014年度		2015年度予想		前期比 (B-A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鉄鋼事業	722	34	805	47	+83	+13
自動車・産業 機械部品事業	1,510	69	1,470	54	△40	△15
その他事業	144	4	185	33	+41	+29
(内、発電事業)	(66)	(△9)	(105)	(20)	(+39)	(+29)
消去	—	△43	—	△37	—	+6
連結 計	2,377	64	2,460	97	+83	+33

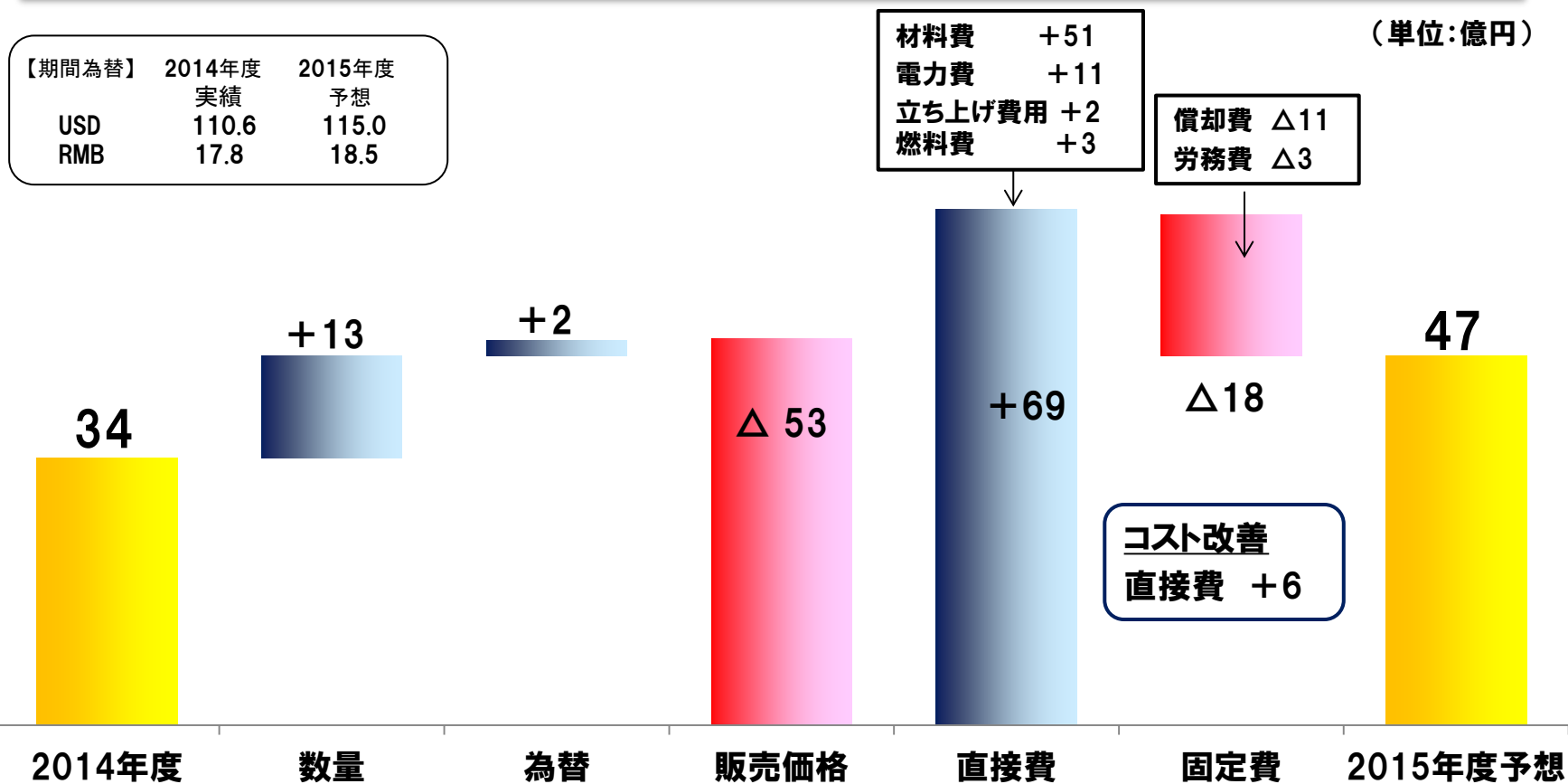


# 鉄鋼事業 営業利益増減要因予想



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

適正な販売価格の維持、コスト改善の継続に加えて新製鋼工場の効果発現により、  
13億円の増益。



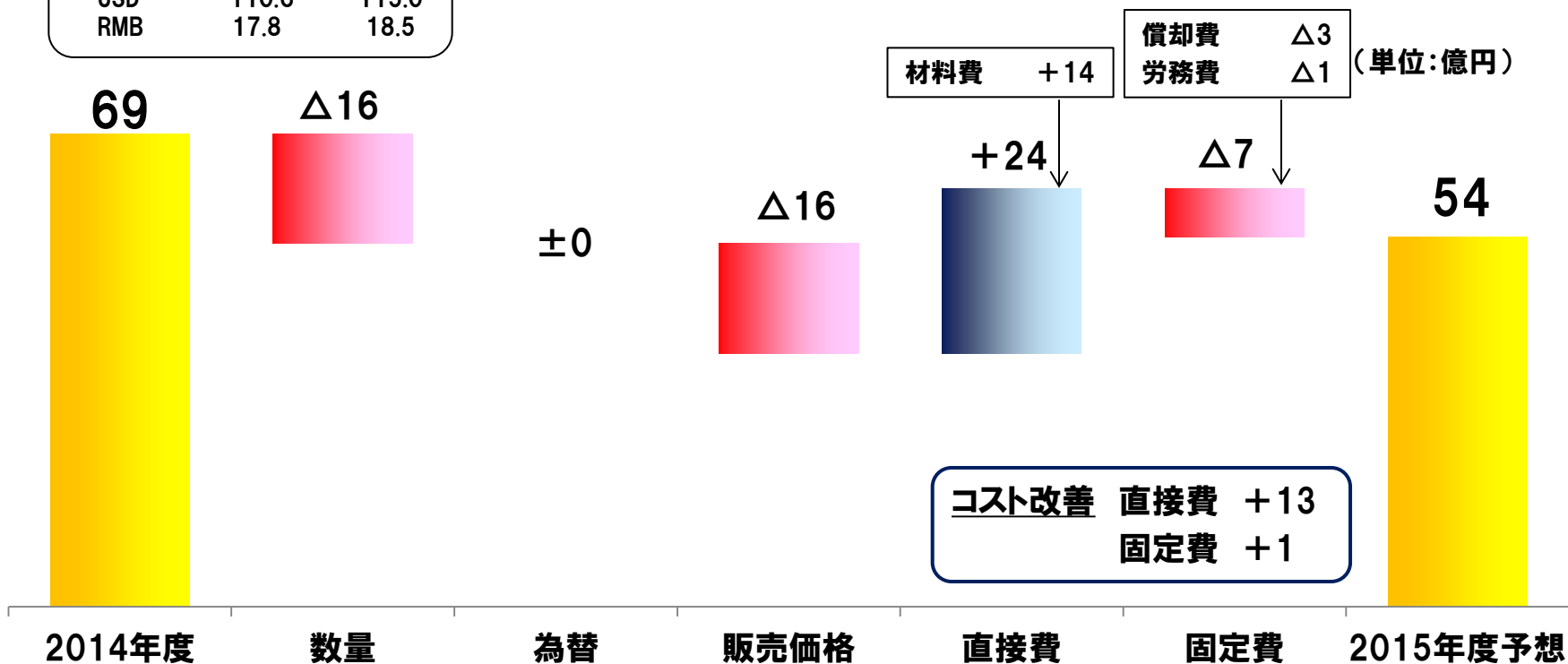
# 自動車・産業機械部品事業 営業利益増減要因予想



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

コスト改善に取り組むが、ホイール、建設機械用足回り部品の数量減等により、15億円の減益。

【期間為替】	2014年度 実績	2015年度 予想
USD	110.6	115.0
RMB	17.8	18.5





**中期連結経営計画  
Growth & Change 2015  
の進捗状況について**

# 中期連結経営計画 Growth & Change 2015



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

## 基本方針

### グローバルでの成長と高収益体質への変革

#### ■海外事業の量的成長

成長する新興国市場への対応

グローバルレベルで勝ち抜く事業基盤の実現

#### ■国内事業の質的成長

強靱なコスト競争力の実現

競争力の高い商品、卓越した技術を武器に

高付加価値品を拡大

海外展開を支えるマザー工場としての機能強化

## 数値目標

売上高営業利益率	6.4%
自己資本利益率（ROE）	9.6%
総資産利益率（ROA）	7.3%
D / E レシオ	0.66

## 計数計画

売上高	2,815億円
（海外売上高比率）	25%
営業利益	180億円
当期利益	100億円

## 重点テーマ

### 海外事業の拡充（量的成長）

1. グローバルシェアの維持・拡大
2. グローバル供給体制の強化

### 国内事業基盤の強化（質的変革）

1. 製鋼設備の新鋭化による製造コストの抜本的改善
2. 生産性向上「つくりの変革」・原価低減活動の深化
3. 戦略・高付加価値製品の開発と拡販

### 経営の高度化

1. 業務プロセスの改革
2. グローバルでのグループ経営の高度化
3. グローバルで戦える技術力の強化
4. リスクマネジメントシステムの深化

# 中期連結経営計画の進捗状況



流れるように美しい、技術と品質。

*One-piece Cycle*

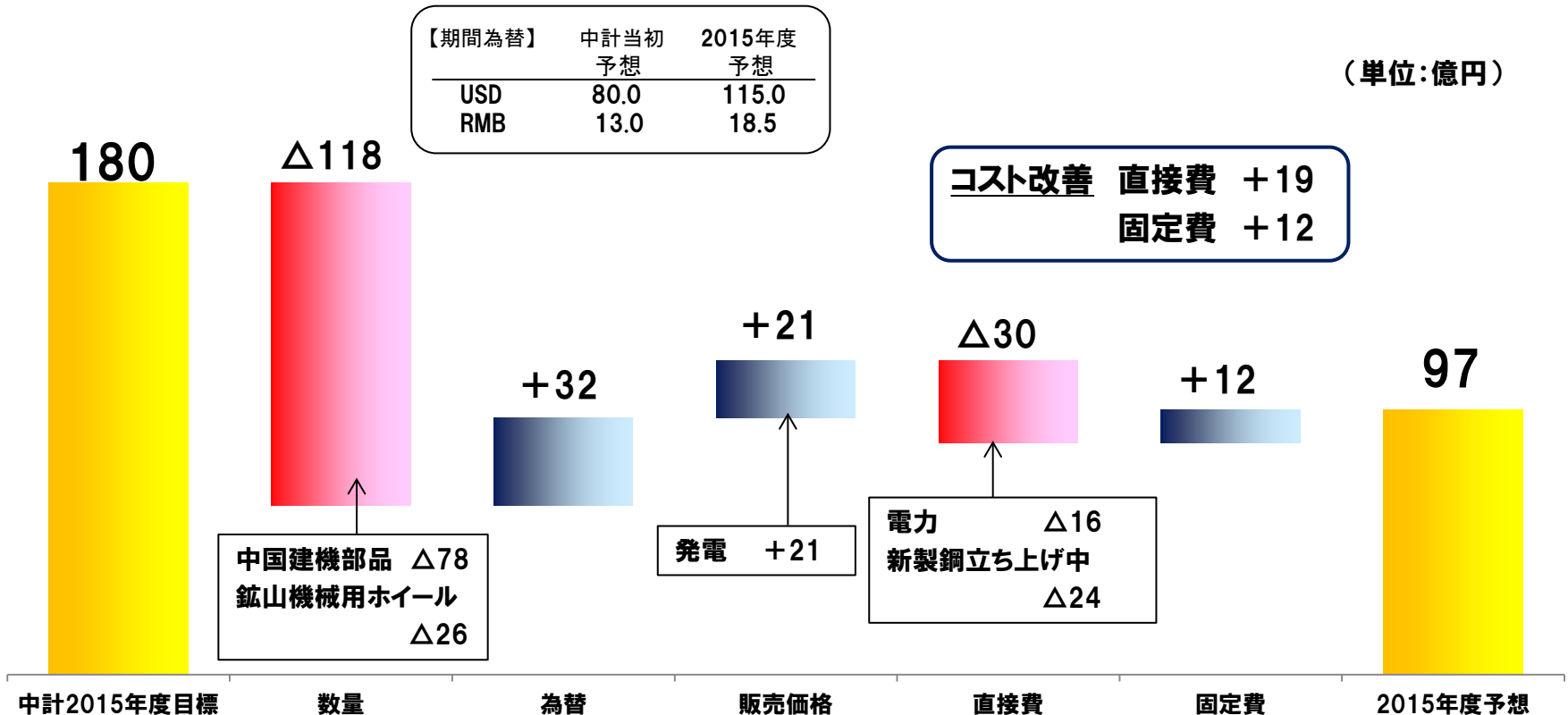
- ・鉱山機械需要および中国をはじめとした建設機械需要の激減等、経営環境の大きな変化により、収益目標は未達。
- ・しかしながら、自動車・産業機械部品事業のグローバル供給体制確立、圧倒的なコスト競争力の強化を狙った新製鋼工場の建設等、次の成長への基盤づくりは着実に実行。
- ・また、発電事業等、事業の見直し・再編に取り組み、収益力を強化。
- ・経営の高度化のための諸施策を、当初計画通りに実行。

# 中計(2015年度)対2015年度公表値 営業利益比較



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

構造改革・改善の効果発現するものの、経営環境の大きな変化により目標と乖離。

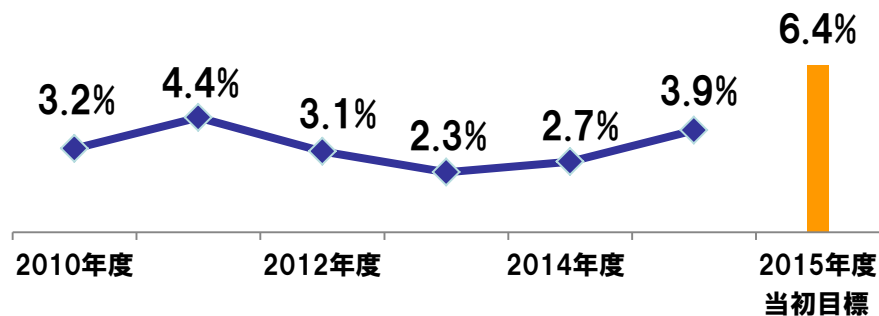


# 数値目標推移

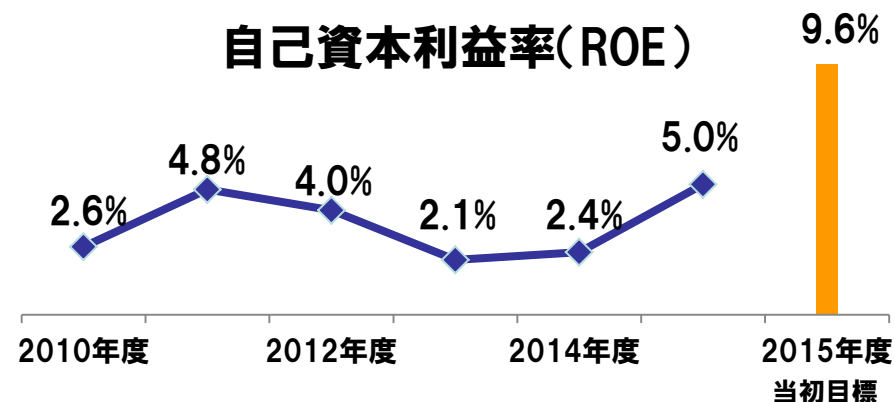


流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

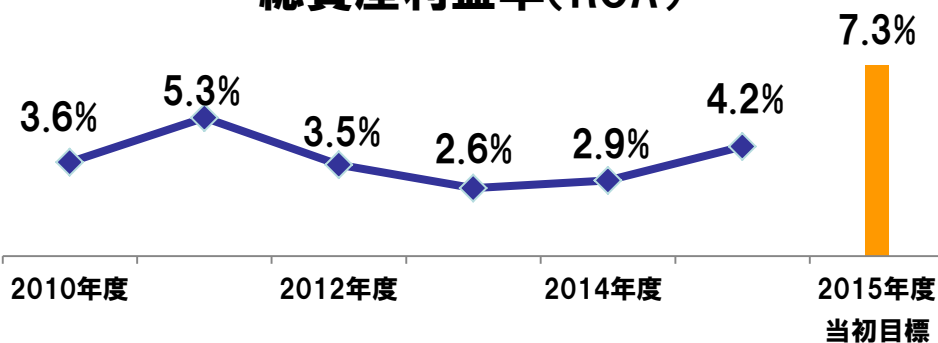
## 売上高営業利益率



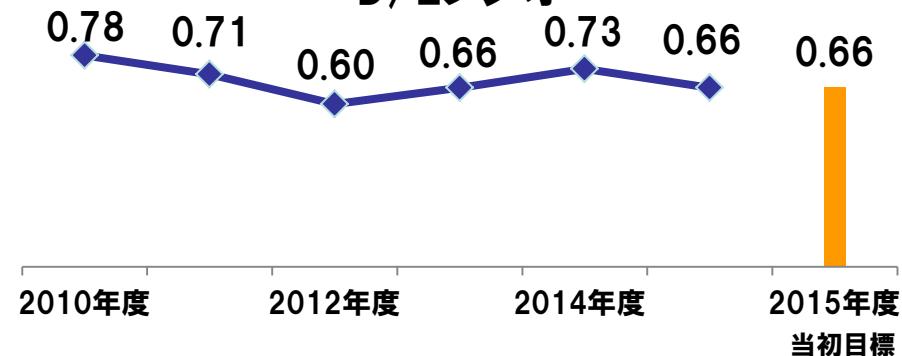
## 自己資本利益率(ROE)



## 総資産利益率(ROA)



## D/Eレシオ

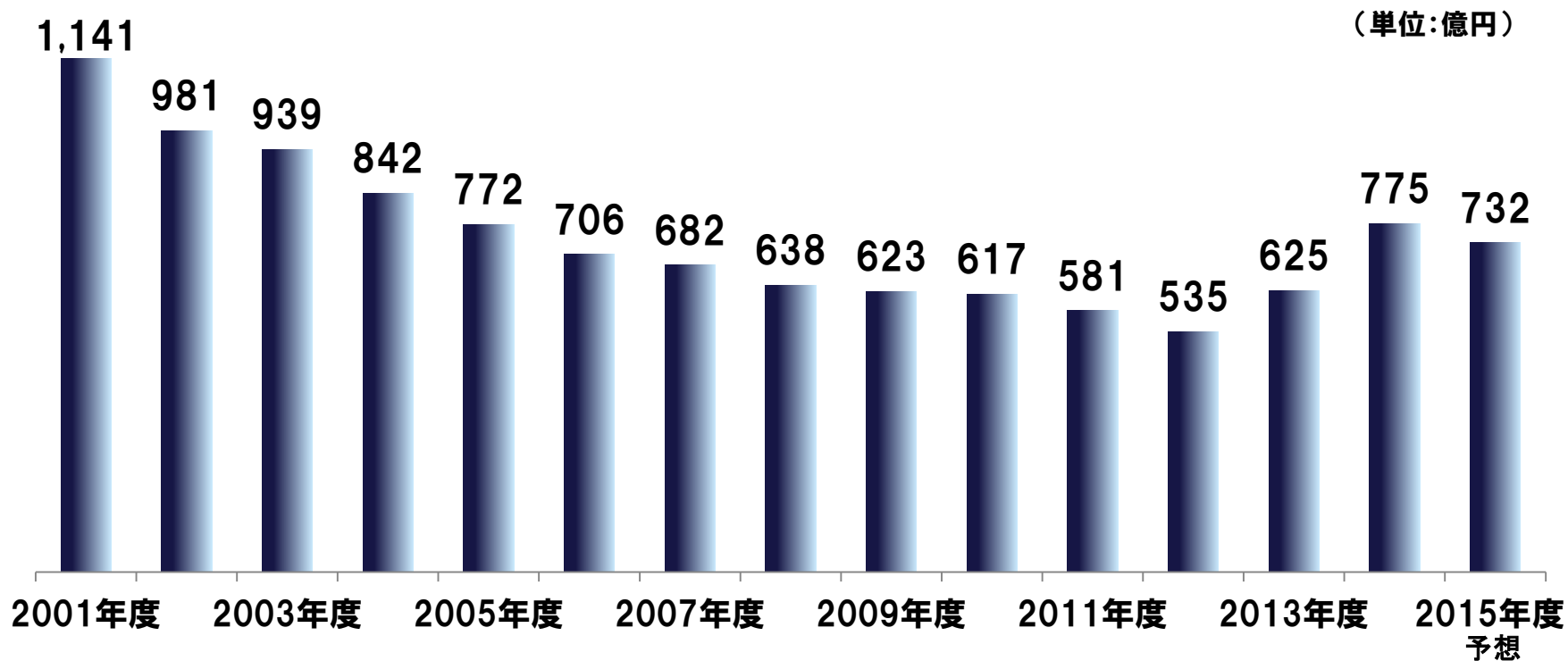


# 有利子負債



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

2015年度は732億円(前期比△43億円)を予定。





# 新製鋼工場 立ち上げ進捗状況



流れるように美しい、技術と品質。

*One-piece Cycle*

## ■狙い

- 地震、津波対策の実施
- 圧倒的に低い電力原単位の実現
- 鉄源の自給化によるコスト競争力強化



【工場外観】

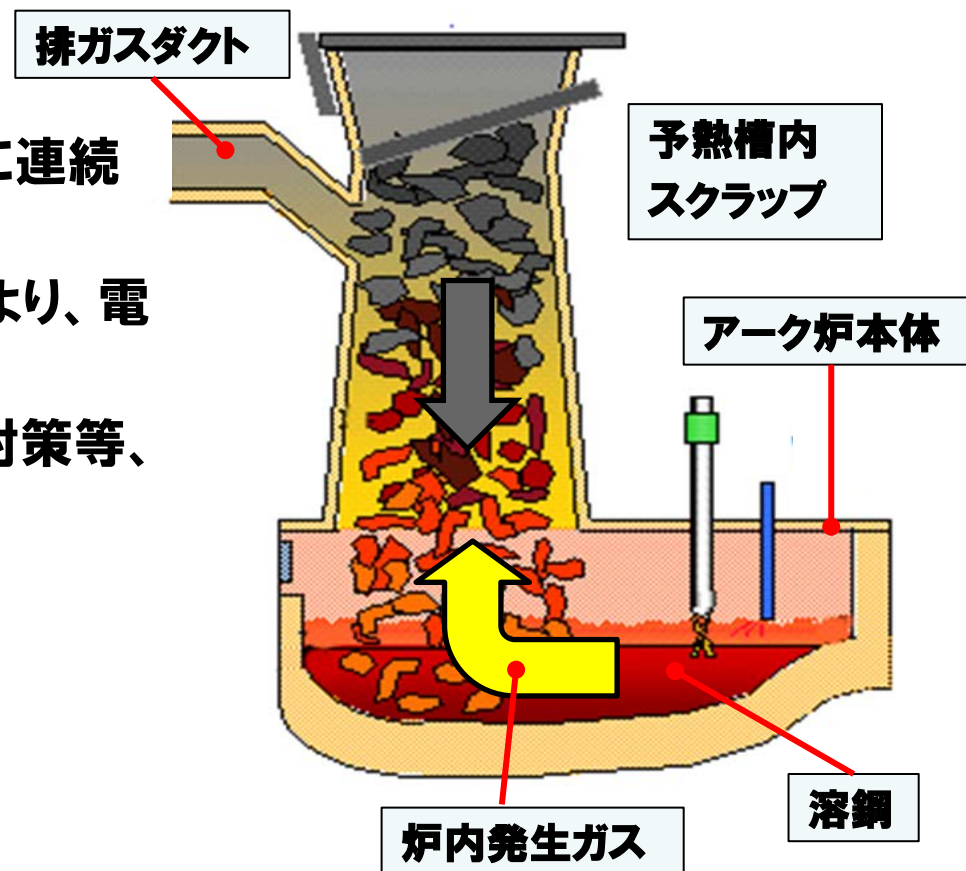
## ■進捗状況

- 2014年10月 試運転(ホットラン)開始  
旧設備との切替操業による性能確認、操業訓練、品質確性等を実施
- 2015年3月 新製鋼工場の量産体制へ移行  
現在は、操業に関する各種ベスト条件の検証期間  
2015年度中に操業諸元を目標レベルへ

# 環境対応型アーク炉の導入

## ■新設備の特長

- ・スクラップを予熱槽(シャフト)内に連続装入し溶解する方式
  - ・スクラップを高温予熱することにより、電力原単位を大幅に低減
  - ・ダスト発生量低減、ダイオキシン対策等、環境対応型のアーク炉
- 
- ・導入実績：6基目
  - ・容量：200t/ch(6基中最大)



# トピー エムダブリュ メキシコ 立ち上げ進捗状況



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

## ■会社概要

- ・会社名 トピー・エムダブリュ・マニュファクチャリング・メキシコS.A. DE C.V.
- ・所在地 メキシコ合衆国 グアナファト州
- ・生産品目 乗用車用・ライトトラック用スチールホイール
- ・資本金 1,300万米ドル
- ・従業員 51名(2015年4月現在)
- ・設立 2013年10月



【工場外観】

## ■狙い

- ・拡大するメキシコでの需要を現地生産化により着実に取り込む。
- ・乗用車用スチールホイールの製造拠点を日本、アメリカ、中国にメキシコを加えてグローバルに対応する体制を構築する。

## ■進捗状況

- ・2014年10月 設備据え付け開始
- ・2015年1月～3月 客先監査、客先認証
- ・2015年4月 全ライン稼働開始

# 工業用ファスナーの新工場建設を決定(メキシコ)



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

## ■会社概要

- ・会社名 トピーファスナー・メキシコ  
S.A. DE C.V. (仮称)
- ・所在地 メキシコ合衆国サンルイスポトシ州  
サンルイスポトシ市
- ・事業内容 工業用ファスナー製品の製造販売
- ・資本金 500 万米ドル
- ・会社設立予定 2015年7月
- ・稼働開始予定 2017年1月



## ■狙い

- ・メキシコにおける乗用車生産の増加に対応するため、生産拠点を設立する。
- ・新会社の稼働により米州における工業用ファスナー供給基盤を確固たるものにする。

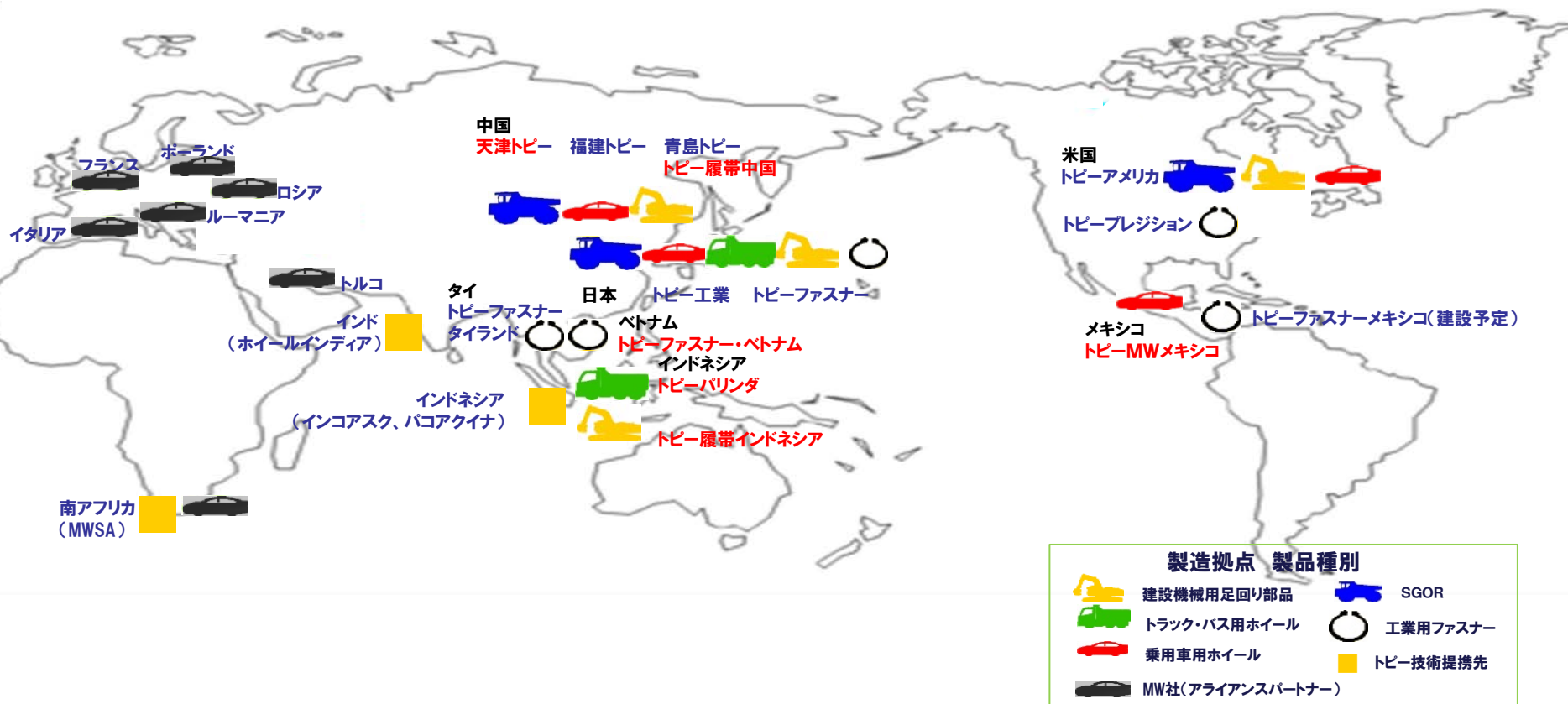
# 自動車・産業機械部品事業のグローバル展開



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

インドネシア、メキシコへの進出により、アライアンスパートナー拠点と合わせグローバル供給体制の構築を推進。





# 社外からの表彰



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

SGOR

## キャタピラー社殿

SQEP(Supplier Quality Excellence Process)  
プラチナレベルの認証を取得(3年連続)



履板  
・  
履帯

## キャタピラー社殿

SQEP(Supplier Quality Excellence Process)  
シルバーレベルの認証を取得(2年連続)



## 日立建機殿

優良サプライヤとして表彰



キャタピラー社殿よりプラチナ認定の授与  
(2015年3月 綾瀬製造所)



**本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。**

*One-piece Cycle*

流れるように美しい、技術と品質。